

# 獨協医学会

会 長 寺 野 彰 (獨協医科大学学長)

## 運 営 委 員 会 委 員

平田 幸一*	秋山 一文**	奥田 泰久**	石光 俊彦	入江 嘉仁
植木 敬介	上田 善彦	内田 幸介	遠藤美根子	大平 修二
小端 哲二	榊原 伸一	佐々木忠昭	篠田 元扶	杉田 憲一
千種 雄一	中元 隆明	野上 謙一	簀持 淳	服部 良之
春名 眞一	深澤 一雄	本田 幹彦	緑川由紀夫	

\*委員長 \*\*副委員長

## Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

小端 哲二*	石光 俊彦**	上田 善彦	内田 幸介	遠藤美根子
杉田 憲一	千種 雄一	中元 隆明	服部 良之	春名 眞一

\*委員長 \*\*副委員長

## 編集事務員

鯉沼 行子

## 編 集 後 記

34巻第2号をお届けいたします。

本号には、論文数は多くはないが、多数の興味深い原著論文、症例報告および総説が含まれている。原著論文の「医師国家試験における頻出事項の解析」は、国家試験の100%合格率を目指す獨協医科大学の教員および医学部学生にとっては大変貴重な内容であったと考える。今後の教育指導に役立てていただけることを期待するものである。また、症例報告では、ダブルバルーン小腸内視鏡の検査が報告されているが、過去にはほとんどアプローチ出来なかった小腸の病変が、近年、カプセル内視鏡とダブルバルーン小腸内視鏡の開発により飛躍的に診断レベルを上げており、貴重な報告であったと考える。なお、カプセル内視鏡はテレビでもお馴染みの当大学学長の寺野彰先生が中心となって広く発表されていますので、消化器系の雑誌などを読まれてはいかがでしょうか。また、総説にある東アジア古代人の化石などから見た形態的観察などは文化人類学上大変貴重な論文であり、我々が日常では接することの出来ない興味深い内容であったと考える。

また、本号には、越谷病院の健康診断の結果と現状分析の

報告があり、当大学の医学雑誌であるが過去にこのような報告はされていないように記憶している。中高年の高血圧、中性脂肪値、コレステロール値の上昇が目立ち、話題のメタボリック症候群にならないように我々も日々の生活に気をつけなければと反省するものである。

最近、本学でも長年の懸案であった週休2日制の導入が現実味をおびてきた。大学病院に研修医が残らず、医師が不足する時代となり、大学院への入学者も減少している現在、週休2日制はどのような影響をもたらすであろうか。個人的な考えではあるが、教員のみならず職員も含めて毎日が日常業務に没頭し、研修医の教育などにおわれている現状を考えると、研究時間の確保や精神的なストレス解消のための休日の確保は、健全な精神を維持するためには必要なことであると考える。現実的には医療収入の問題や稼働率の問題など多くの問題が存在しているが、教職員全員がより良い職場環境を目指して週休2日制導入に向かうことを期待するものである。(上田善彦)

2007年7月20日印刷

第34巻 第2号

2007年7月25日発行

編集発行人

獨協医学会

寺野 彰

発行所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地  
獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

製 作

教 文 堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136